



# 登立小だより

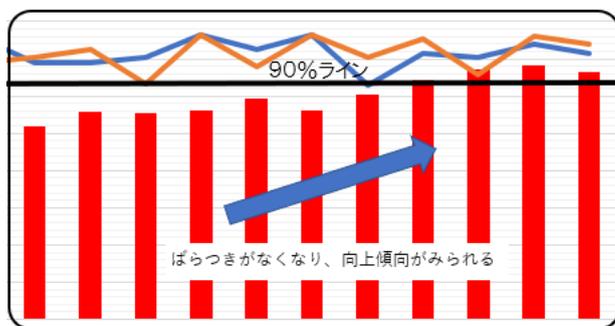
如月号



登立小HP  
文責 校長

## のびっ子の内面の変容

寒さも緩み、梅の花がほころび始めました。春の訪れを一番に知らせようとして見えます。学校では卒業の足音が聞こえています。教室から聞こえる送辞・答辞の歌声に一抹の寂しさを感じます。さて、本年度も心の教育を核にのびっ子の内面づくりに取り組んでまいりました。その指標として掲げてきた「自己肯定感と自己有用感の高揚」については毎月のアンケートを実施し、三年間継続して内面の変容の資料としてきました。その成果があり、11月を境に数値に伸びがみられます。目標としてきた肯定率90%を超える回答が得られ、「自分が好きになり、自信が持てる」「友だちが大好きで、ためになることができる」という感覚を子供たちが得ているという受け止めができます。これは、善い集団生活の条件である「自分が好き」「良い友達がいる」「他者のためになることができる」というのびっ子の幸福度が高まっていると捉えることができます。12月には、いじめに関する調査も行いましたが、教育相談を活用しながら詳細な把握の結果、いじめの認知はありませんでした。これらの結果は一側面であり、すべての子供たちにあてはまるものではありませんが、子供たちの学校生活の変容をとらえて捉えることができます。子供たちにとって、思いが表現でき、自己実現への意欲が失われない学び舎を大人（保・地・教）の力で創造し続けたいと考えます。今後ともご支援、ご協力をお願いします。



12月 1月 2月 R75月 6月 9月 10月 11月 12月 1月 2月  
 赤棒: 肯定感・有用感平均 青折: 学校生活満足度  
 橙折: 授業理解度

### 集団生活の条件

- 1 自分が好き
- 2 良い友達がいる
- 3 学校やクラスのために  
なることができる

自己肯定感

自己有用感

**一日体験入学** 来春の入学を予定している子供たちの体験入学会を開きました。来校を楽しみにしていた一年生は、胸をワクワクさせながら読み聞かせの練習に取り組んでいました。交流会が始まってすぐにやさしくお世話する姿は頼もしく感じられました。交流会では歌やゲーム活動で楽しくすごしました。新入予定の子どもたちも目を輝かせながら先輩たちとの楽しい時間を過ごせたようでした。入学を待っています。



**ようこそ先輩** 本校で教育実習が行われました。実習生の先生は本校の卒業生です。元気で、明るく、笑顔の絶えない方です。そんな先生と過ごす学校生活にのびっ子たちも大喜びでした。教育実習は一週間と短く、別れが寂しく感じました。でも、来年も本校で実習が続きます。先生の元気と笑顔、そして、心のコもったあいさつの姿を忘れず、大きくのびた姿を見せましょう。また、会えることを願っています。



**つなしの会** 「つなしの会」は、年齢を数える際に「一つ、二つ…九つ」と付く「つ」が、10歳(とお)でなくなることから、10歳を迎える4年生の成長と自立を祝う行事です。更生保護女性会のご厚意により毎年「つなし」を祝っていただいております。手作りのお祝いの色紙を子供たち一人一人にいただきました。「つなしの会」を通して、成長の意味とともに地域の方々に見守られている喜びを感じたのびっ子たちでした。

**ありがとう集会** これまで、教育活動に多くの方々にご参加いただきました。のびっ子の笑顔は、地域の方々をはじめ、ご支援いただいた皆様のおかげです。今年も、感謝を伝える集会を開きました。のびっ子会が計画し、進めた集会です。参加された方々が喜んでいただけるように心を込めて取り組みました。絆が太く、強いつながった時間となりました。支援者の皆様方、これからもこのびっ子をよろしく願います。

**かがやき優良賞** 作文コンテストでのびっ子の作品が表彰を受けました。JA様から雑誌「ちゃぐりん」の寄贈を受けて読書感想や農業に関する意見文を書いた3年生が受賞しました。会場には天草管内から受賞した小学生が集まる中で、光り輝くのびっ子たちでした。大きな賞状と副賞をいただき、満面の笑顔の中に、学びの成果を認められた喜びが感じられました。おめでとう！



## 「ことばのちから」を育てる

歌人の俵万智さんが語っておられました。「楽しみといえば、夜の枕元で母から聞かされた童話だった」と。全てを暗唱するほど繰り返し聞いた物語は、幼い心に深く残り、ことばの土台となったといえます。今、子どもたちを取り巻く環境は大きく変わりました。スマートフォンや動画配信など、便利で魅力的なものが身の回りにあふれています。しかし、乳幼児期の長時間の視聴は、ことばの発達やコミュニケーションの力に影響を及ぼすという研究結果も報告されています。画面から得る情報は一方通行になりがちで、「ことばを交わす」経験とは性質が異なります。もちろん、ICT機器は私たちの生活や学習に欠かせないものです。本校でも教育活動の中で有効に活用しています。ただ、子どもの健やかな成長のために大切にしたいのは、人と人が向き合い、声をかけ合い、思いを伝え合う時間です。読み聞かせや家族との会話、友達とのやりとりの中で、子どもたちはことばを学び、相手を思いやる心を育てていきます。大人が肉声で語りかけることは、子どもにとって何よりの安心であり、豊かな情緒を育む土壌となります。本校では、読書活動の充実や対話を大切に授業づくりを進めています。ご家庭におかれましても、短い時間でも構いませんので、ぜひ「ことばを交わすひととき」を大切にいただければ幸いです。ことばの力は、生きる力の礎です。学校と家庭がともに手を携え、子どもたちの未来を支えていきたいと思ひます。

**のびっ子まつり開催** 年に一度の学校のお祭り「のびっ子まつり」が開催されました。毎年子供たちへのご褒美として、保護者の方々が開いてくださいます。地域の方々、民生委員の方々、上天草高校、老人会、社会福祉協議会の皆様のご協力をいただき、たくさんのブースが設置されました。のびっ子はみんな大喜びで、笑顔いっぱい、楽しく活動していました。学校生活の大きな思い出として深く心に残ることでしょう。保護者の方々をはじめ、ご協力いただいた多くの方々に心より感謝申し上げます。子供たちの健全な成長を願う我々大人が、しっかりと関わり、守り育てる学びの環境をこれからも高めていきたいと考えます。



オープニングセレモニーでは、合唱(6年生)、童話発表(くん)、演舞(3年生)が披露され、会場が熱く盛り上がりました。学習成果を発表してくれたのびっ子たちに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとう。



開会と共に、校内に飛び出したのびっ子たちは笑顔でいっぱいでした。野菜の販売は、2年生が心を込めて育てた冬野菜です。6年生は茶道体験も行いました。上天草高校福祉科のご協力です。福祉体験もすることができました。



その他にも、お手玉、竹とんぼに、竹馬、こま回しなどの昔遊び体験、輪投げやグランドゴルフ、ゴルフボールなどのスポーツ体験もありました。まわりきれいなほどの体験ブースが用意され、心がポカポカした一日となりました。

**縦割り班対抗リレー大会** 体育委員会のみなさんの企画で「縦割り班対抗リレー大会」を開きました。気温が低く、とっても寒い日になりましたが、おいしい給食を食べた後でもあり、心も体もポカポカでした。どの班も前日から作戦を立てて臨んでいました。全員が真剣にチームのために全力で走りぬきました。のびっ子全員で楽しい昼休みを過ごしました。計画してくれた体育委員会のみなさん、ありがとう。

**給食記念週間** 「給食」への感謝の心を高めるのびっ子たちです。給食記念週間では、給食委員会のみなさんが中心となって、「食」に関する活動を行いました。昼休みには「豆つかみ大会」を開いて、はしの上手な使い方について体験活動を進めていました。給食後とあってみんなとっても上手に「豆つかみ」ができていました。調理場の先生方への感謝の気持ちもしっかりと伝えながら日々の給食をいただいているのびっ子たちです。



## お魚料理教室

6年生が地域の漁業者クラブのご厚意で鮮魚の下処理から調理までの体験活動を行いました。海に囲まれたふるさとの豊富な水産資源を守り、活用することの大切さを感じとる時間にもなりました。ご協力いただいた方々へ深く感謝いたします。



## 学習成果発表

教室が学習カフェに変身しました。このカフェは、4年生が学習成果の発表の場として企画した取組です。鉄器で沸かしたお湯で淹れた特製のお茶も振舞われました。地域の方々、保護者のみなさん、そして、他学年の子供たちも参加し、賑やかな会場になりました。何よりも学習成果のまとめ方、プレゼンする方法もよく工夫されていて、参加された全員が満足のいく時間を過ごされたように感じました。のびっ子の学びが、また広がりました。

